

キッピーファミリーとあそぼ



これは「ニン滝」です。この滝の名前の由来は何でしょうか？

【ヒント】青野川溪谷を上って行けば左側に案内看板がありますので、現地に行ってみてください。

応募者の中から抽選で3人に三田市特製キッピーストラップまたは、小さなぬいぐるみを進呈します。
答えとお名前、ご住所、年齢、「コなぐ」を読まれた感想を明記の上、2月14日（金）必着で以下のいずれかにお送りください。



前回の答え **幸せの七地蔵尊** 正解者は2名でした！

プレゼント当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
・個人情報は厳重に管理・保護いたします。 ・いただいたご意見、ご感想を掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

市民の皆さんの相談をお待ちしています

次回の市政相談は4月1日(水)です。

*やむを得ず日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

【相談場所】市役所 6階 委員会室
【相談時間】午後1時から午後4時まで
1件につき50分
【申し込み】3月25日(水)までに
申込書を議会事務局まで

3月定例会は2月18日開会です

2/18(火)	10:00~	本会議
2/19(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和元年度補正予算)
	終了後	経営政策常任委員会
2/20(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和元年度補正予算)
	終了後	福祉教育常任委員会
2/21(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和元年度補正予算)
	終了後	生活地域常任委員会
2/25(火)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和元年度補正予算)
3/ 4(水)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決
3/ 5(木)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)
3/ 6(金)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)
3/10(火)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和2年度予算審議)
3/12(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和2年度予算審議)
3/13(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和2年度予算審議)
3/16(月)	9:00~	予算決算常任委員会 総括質疑(令和2年度予算)
3/17(火)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和2年度予算)
3/25(水)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

*上記予定は変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、その他委員会は6階委員会室で開催予定です。

伺います！ 議員と意見交換しませんか？

さんだ未来トーク

★詳細はホームページをご覧ください。

三田市議会だより **コなぐ** 2020.2 vol.159
〒669-1595 三田市三輪2-1-1 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp 市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

<http://www.city.sanda.lg.jp/shiseijouhou/gikai>

Twitter Facebook インターネット録画中継

三田市議会HP

市議会だより ネットコなぐ

表紙紹介 ~青野川溪谷~

千丈寺湖の上流、緑豊かな青野川溪谷。春は山桜、初夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色など、四季折々の姿が楽しめます。「ニン滝」と言う二段滝がありますが、約5メートルの高さから水が数条にわかれて流れ落ち、氷点下を下まわる真冬の寒さでしぶきが凍ると、幻想的な風景になります。

やまざきさんのホームページ
<http://syama0726.sakura.ne.jp/wp/>

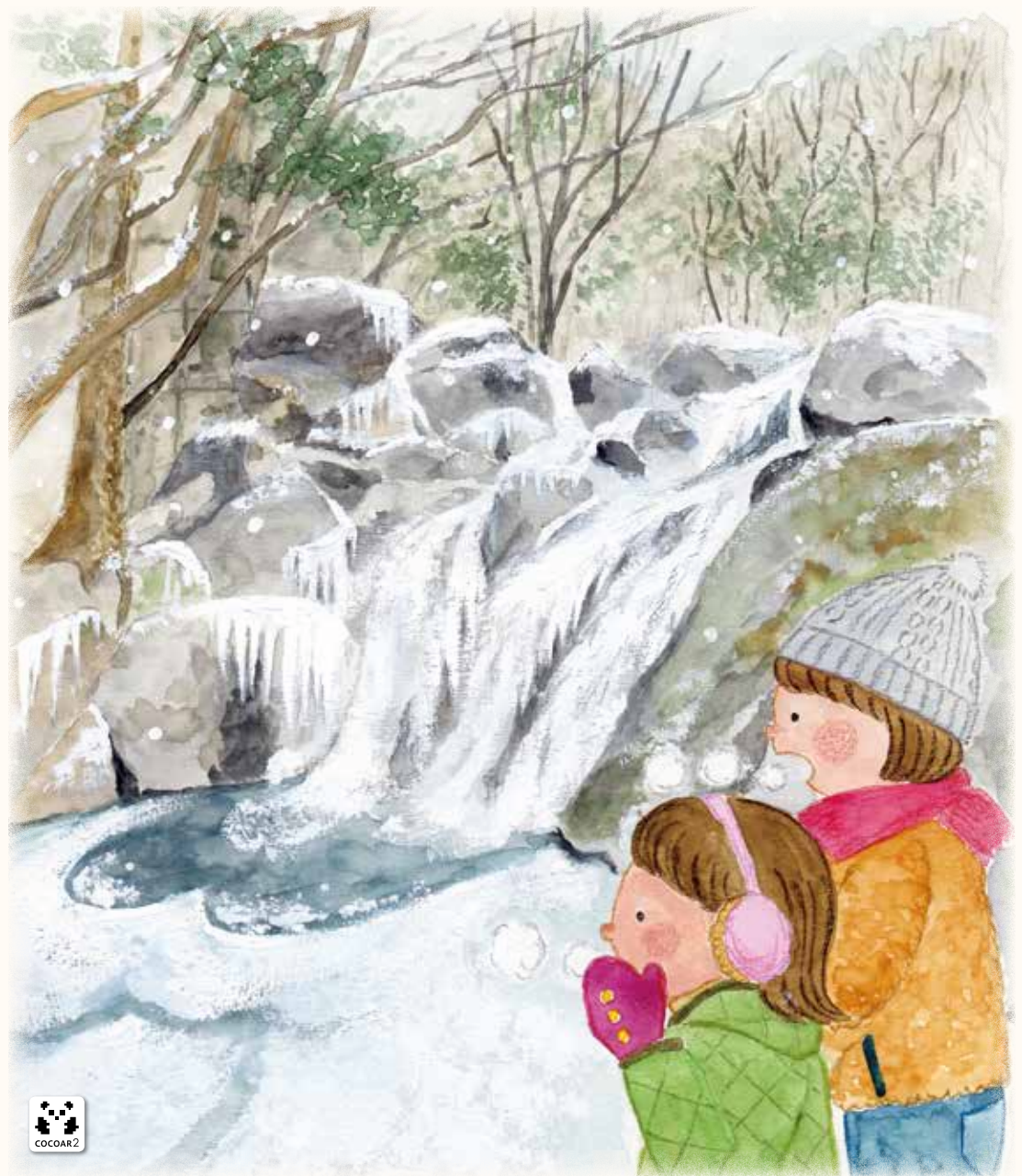
あらゆる人と共に…



2月号
2020
vol.159



質問\12月定例会の結果\意見交換会予告\会派要望\千思万考



© やまざき さをり

広報委員会
[委員長] 西上俊彦 [副委員長] 佐々木智文
[委員] 長尾明憲 大西雅子 小杉崇浩 三谷禎勇
[議会事務局] 山口玲子 辻井保

編集後記
新体制となって初めての発行です。市民に開かれた議会を目指して議会の存在感をさらに強固にしていくよう努力を重ねて参ります。市民の皆様からの色々ご意見をお待ちしております。

VEGETABLE OIL INK この広報紙は環境保護のため、植物油インキを使用しています。 19議8-013A4

スマホで動画「COCOAR2 ココアル2」臨場感をもっと身近に。

<ダウンロードの方法>
iPhone = [AppStore] Android = [Google Play] で「cocoar2」と検索。
インストール後アプリを起動し、表紙イラストにしばらくかざすと動画が流れます。
※機種、通信環境によって動作が遅くなったり、作動しない場合があります。



SANDA CITY COUNCIL

まちづくりや暮らしに関する制度、市の行う事業や市の方針について、議員が質問を通して主張・提言・指摘を行います。市の重要な施策は、この本会議で決定されます。

12月定例会は個人質問のみです。質問時間は答弁と併せて40分です。

三田市議会会議録

検索



三田市議会インターネット録画中継

検索



檜田 充 議員

市民の会



福祉 障害者の雇用の促進を

議員 障害児の将来に向けての不安解消に向け、現在実施されている「地域社会共生フェスティバル」への民間企業の参加呼びかけを!!

市 少しでも多くの選択肢を提供

障害者雇用の促進は、障害者の生活の安定や生きがいづくり等の観点からも、積極的に推進する必要がある。現在は障害福祉事業所中心だが、来年度から、まずは三田市が一事業者として「地域社会共生フェスティバル」へ参加するとともに、市内企業への参加を呼び掛ける。(森市長)

他の質問 ●公共施設のあり方について

北本 節代 議員

新政みらい



市民病院 地域医療の未来を守る、つなげる改革について

議員 市民の命と健康を守るため、市内で安心して治療を受けることができる市民病院について、何のためにあり方を見直そうとしているのか。

市 このままでは、急性期医療は維持できない

急性期医療を守るには、最新の設備や機器を配備し、多くの医師等を確保できるよう集約化しなければ、医療水準も経営も保てない。また、若手医師の確保は新専門医制度の開始により大きく変化した。

病院を取り巻く環境は厳しさを増すが、この地域の急性期医療を守るため広域的な視点で改革を進めたい。(森市長)

他の質問 ●災害時の情報伝達について ●買物支援による相互連携協定について

説明

*新専門医制度：平成30年4月に始まった制度。複数の指導医のもと研修プログラムを受け、手術、診療件数の多い大規模病院で経験を積む必要がある。

三谷 禎勇 議員

盟政会



子育て 早急に公立幼稚園の認定こども園化を

議員 待機児童の解消に幼稚園の認定こども園化が有効と考える。市内の私立幼稚園は来年4月で全て認定こども園化するが、公立幼稚園も早急に認定こども園化すべきではないか。

市 幼稚園再編を進め、令和5年度の開設を目指す

待機児童対策は保育施設の誘致等も行い民間主導を進める。公立幼稚園は集団規模の確保に向け再編を進める中で、認定こども園化等の保育サービスの充実を図る。なお、施設改修や保護者説明、人材確保等が必要であり、令和5年度の開設を目指す。(高見子ども・未来部長)

他の質問 ●三田における農業について ●災害時のペットへの対応について

大西 雅子 議員

公明党



福祉 生活困窮者への就労支援を問う

議員 社会参加の機会が少ない人が、今後、生活保護にならないようにしていくには、多様な課題の解決に対応できる困窮者に特化した相談員の配置や、一般就労に従事するための準備事業、そして学習支援も大事であると考えているが、市の見解は。

市 生活困窮者自立支援制度各事業の実施を検討

就労準備支援及び家計改善支援事業の一体的な実施が必要であり、また、子どもの学習・生活支援事業も重要であるため、これらを総合的に見極め、どのように優先的に実施していくか検討していく。(入江福祉共生部長)

他の質問 ●野良猫対策について ●災害時におけるペットの同行避難について

小山 裕久 議員

無会派



教育 新しく成人となる18歳の消費者教育は

議員 民法改正により令和4年4月から18歳で様々な契約ができるようになり、知識不足などによる金銭トラブルなどが多発すると考える。新しく成人となる18歳に対しての消費者教育について伺う。

市 学校教育との連携がより一層重要になる

賢い契約当事者の育成に向け、教育委員会と連携し、小中学校への情報提供や教職員の研修への協力等をより一層働きかける。また、市内の高等学校との連携についても積極的に取り組んでいきたい。(森市長)

他の質問 ●これからの子ども達の育成について

中田 哲 議員

新政みらい



子育て 放課後児童クラブの毎土曜日開所を

議員 現社会情勢の中、女性活躍は欠かせない。現行月一回だけの土曜日開所では、シフトで働く方には使いづらい。財源に限界があるならば、施設を集約してでも、毎土曜日開所を実現できないか。

市 ニーズ調査行っただうえで諸課題を検討

利用者増大傾向の中、待機児童が出ないよう努めているが、人材確保等の課題がある。サービスの拡充等には施設を集約化の考え方もあるが、場所の問題や児童の通所方法等の課題もある。保護者のニーズや、安全性を考慮し可否を検討する。(高見子ども・未来部長)

他の質問 ●プログラミング教育について

●定住外国人・外国人旅行者の対策について ●地域住民主体の介護予防の取り組みについて

國永 紀子 議員

日本共産党三田市議団



学校 学校給食用パンに国産小麦の使用を

議員 学校給食用パンに使われている輸入小麦から、残留農薬が検出されている。WHO国際がん研究機関は、発がん性が高いとしている。残留農薬検出ゼロの国産小麦を、食育教育の一貫として、月1回から取り入れてみてはどうか。

市 県産小麦のパンの一部導入を検討したい

学校給食で使用の小麦は、246種類に及ぶ残留農薬検査によっても不検出で、安全だと認識している。県産小麦を使用したパンの一部導入については、地産地消や食育の効果も期待できるため検討したい。(岡崎学校教育部長)

他の質問 ●学校統廃合問題について ●高齢者の運転免許返納後について ●三田まつり中止後の今後のあり方について

田中 一良 議員

新政みらい



まちづくり フラワータウン地区の再生を

議員 銀行の撤退などフラワータウン駅周辺の衰退が顕著になりつつある。商業施設など駅前周辺を活性化させる為に、市所有の駅前倉庫を売却し、学生や単身者向けの賃貸マンションとして活用してはどうか。

市 フラワータウン再生には人口定着が重要

当該地はフラワータウン駅にも近く、単身者や学生向けのマンションとしての活用策も十分に可能性のある内容と考えるので、様々な事業手法を見据えた中で、フラワータウンの再生に寄与する利活用を図っていきたい。(森市長)

他の質問 ●J R 新三田駅西側ロータリーについて ●土砂災害対策等について ●総合文化センター郷の音ホールについて

美藤 和広 議員

市民の会



平野 管子 議員

公明党



佐貫 尚子 議員

新政みらい



白井 和弥 議員

盟政会



防災

豪雨水害！市民情報で、迅速な把握と対策を！

議員 近年の豪雨水害は、他人事ではなく、三田でも冠水・浸水している。市民の映像や情報をSNSなどで受け入れ、統合型地理情報システム(GIS)に一元化集約し、早急な対応を。

市 SNS等で市民情報を受け、GISに統合を調査・研究

速報性や画像情報など災害対応時に有効と考え、SNS等を活用した市民からの情報収集の仕組みづくりを早急に進める。

国の官民データ活用推進基本法を受け、市のICT推進計画の中で、統合型地理情報システムの調査・研究を進める。(森市長)

- 他の質問 ●働く人を守る環境整備について ●高齢者ドライバーの支援について



*GIS(地理情報システム):地理的位置情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や判断を可能とするシステム。
*統合型地理情報システム:庁内LAN等のネットワーク環境のもとで、庁内で供用できる空間データを一元的に整備、管理し各部署で活用できる庁内横断的なシステム。

松岡 信生 議員

公明党



子育て

子どもの貧困対策として「学習塾」活用を

議員 年々増える「ひとり親家庭」や「就学援助」等を受けている家庭の子ども達を対象に、経済格差が学力格差に及ばないよう、高校進学を見据えて、民間の学習塾等を活用した学習支援を行う必要があると考えるがどうか。

市 新年度の予算編成の中で検討したい

子どもの学習支援は、生活困窮者自立支援法の「子どもの学習・生活支援事業」がある。将来への貧困の連鎖を断ち切るための制度であり、近隣市の先行事例を検証し、新年度の予算編成の中で検討したい。(森市長)

- 他の質問 ●高齢者の移動の安全確保について ●障害児の福祉サービスについて

子育て

相談体制の拡充と産後うつ対策は

議員 子育て相談ができる拠点が今後4か所に増えるとのことだが、場所と人員配置は。

幼児だけの相談窓口ではなく、青少年も相談できる体制が必要ではないか。また産後うつ対策はどうするのか。

市 拠点センターの増設と宿泊型の産後ケアを

現チャッピーサポートセンターに加え、市役所とフラワー、ウッドイに拠点センターを設け専門職員を適正配置。その他地域は巡回・出張相談を行う。また乳幼児から青少年までの相談窓口は、相談機能を集約し充実を目指す。産後ケア対策は宿泊型ケアを検討する。(森市長)

- 他の質問 ●災害時の自助を支援する取り組みについて ●農業と福祉をつなぐ「農福連携」について

厚地 弘行 議員

新政みらい



財政

病院や学校など大規模施設の建設と財政計画

議員 市民病院、中学校、ごみ処理施設、Cブロックなど大規模な施設建設が予定されているが、いつどのような順番で行うのか。公債費は36億円で推移し下がっていないが、長期財政見通しはどうか。

市 大規模な投資の実施時期は分散し、財政負担の平準化

公債費は横ばいだが、令和3年度以降には減少する見込み。人口減少に伴う歳入の減少や社会保障費の増加などが予想されることから、大規模な投資の時期は分散させる必要がある。「(仮称)三田未来投資戦略」として整理する。(森市長)

- 他の質問 ●公共交通の諸課題について ●総合防災訓練プログラムについて ●児童手当の支給ミスについて



*公債費:公債の償還や利子の支払いに要する経費(借金の返済のための経費)。

福祉

本庁舎内福祉相談窓口の設置を

議員 福祉は制度が複雑であり、市民はどこに相談に行けばよいかわからないことがある。本庁舎に福祉ニーズの対応ができる福祉コンシェルジュの配置と福祉相談窓口の設置について伺う。

市 福祉コンシェルジュ設置に向け検討する

少子高齢化の中、福祉に関する課題を抱える個人や世帯が増加傾向にあり、福祉コンシェルジュのような相談員の配置、適切な相談窓口への案内の必要性を感じている。本庁舎のどこにどのような体制で配置するか検討し、調整を進めていく。(入江福祉共生部長)

- 他の質問 ●令和2年度三田まつりの見送りについて ●認知症になっても希望を持って暮らせるまちづくりについて ●不登校児童・生徒とその保護者への支援について



*コンシェルジュ:客が何でも相談できる窓口で、豊富な知識に基づき、それぞれにあった提案をする等のサービスを提供するもの。

西上 俊彦 議員

新政みらい



公共交通

地域交通のあり方について、市の考えは

議員 路線バスでの通学や地域住民の交通手段をどのように確保するのか。

又、赤字路線の補助金約4,581万円を違う形で地域交通に活かさないか伺う。

市 持続可能な交通ネットワークの構築を目指す

通学や地域住民のためのバス路線は、交通事業者と課題を共有し、連携を深め、適切に運行されるよう取り組む。また路線バスに頼らない新たな交通手段は最優先で取り組むべきと考え、『地域内交通検討支援プログラム』等の活用の拡大を図り、令和6年度までに10団体との協定締結を目指す。(森市長)

- 他の質問 ●有害鳥獣の現状について ●市街化調整区域内の規制について

防災

長期大規模停電時の三田市の水道は

議員 北海道胆振東部地震では水道の停電に対する水道施設の脆弱さが浮き彫りになった。全国的に見ても水道関係施設の62%が自家発電施設を備えていない。市水道の長期大規模停電への対策はどうか。

市 県や近隣市町と連携し飲料水確保に取り組む

市の古城浄水場にはないが、県営三田浄水場は自家発電機を備えており、母子地区を除く市内の給水区域には県の水の供給が可能で、母子浄水場は小型発電機で運転可能である。県や近隣市町と連携を図り飲料水確保に取り組む。(入江副市長)

- 他の質問 ●地域担当サポート職員について ●第3次三田市環境基本計画について

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



病院

病院再編リストの兵庫中央病院について市は

議員 厚生労働省が発表した424病院再編リストに兵庫中央病院が挙がり、市民から心配の声がある。地域にとって必要な病院と考えるが市の見解を伺う。

市 地域事情が考慮されるよう国の動向を注視

兵庫中央病院の病床はセーフティーネット医療を行う上で必要なものと聞いている。また市民病院と医療連携を行う中で、地域医療を共に支えており、地域に必要な医療機関であることを認識している。

地域事情が考慮されたものとなるよう、市としても国の動向を注視していく。(入江副市長)

- 他の質問 ●人と猫が共生するまち三田をめざして ●幼児教育無償化による影響について



賛否の分かれた議案・請願（福田 秀章議員は、議長のため表決しません。）

賛成：○ 反対：× 欠席：-

議員名	議員名																結果						
	三谷 禎勇	中田 哲	小杉 崇浩	白井 和弥	小山 裕久	幸田 安司	佐々木 智文	多宮 健二	西上 俊彦	大西 雅子	長尾 明憲	佐貫 尚子	森本 政直	田中 一良	北本 節代	美藤 和広		檜田 充	松岡 信生	平野 菅子	國永 紀子	厚地 弘行	
予算	令和元年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
	令和元年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
条例	農業共済条例を廃止する条例の制定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 20 反対 1 可決
請願	インフルエンザワクチン予防接種費用の中学3年生までの助成	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	賛成 2 反対 18 不採択	

全議員が賛成した議案等

議員名	件名
予算	令和元年度農業共済事業特別会計補正予算（第1号）
	令和元年度下水道事業会計補正予算（第2号）
	令和元年度農業共済事業特別会計補正予算（第2号）
条例	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
その他	野外活動センターの指定管理者の指定 → NPO 法人 ナック
	有馬富士自然学習センターの指定管理者の指定 → (公財) 兵庫県園芸・公園協会
	聖苑の指定管理者の指定 → さんだ斎苑管理グループ
	教育委員会委員の任命につき同意を求めること

陳情（採択しません）

件名
教育環境整備に関する陳情書
通学路に関する防犯灯設置についての要望書
身体障害者優先駐車場に関する陳情書 仮称「三田市ゆずり合い駐車場条例」
三田市道 山田・香下線 道路拡幅工事に関する陳情書
商工会に対する支援要望について
三田市私立幼稚園振興に関する要望書
令和元年11月25日現在において、『無償譲渡契約の適格な当事者であることを確認できる文書は、受理または作成していない』という状況では、武庫が丘コミセンの無償譲渡契約の締結は、現時点、「無効」であることの①確認と②是正を求める陳情書

賛否の分かれた議案



一般職の職員の給料に関する条例の一部改正

内容 人事院勧告に準拠し、一般職職員等の給与月額及び勤勉手当の支給額の引き上げ、市議会議員の期末手当の支給割合の改定（引き上げ）を行うなどの改正



反対討論

今回の人事院勧告には職員の給与とともに議員の期末勤勉手当の増額が含まれている。人事院の調査は50人以上の企業に対してであり、三田市の現状に即しているか疑問である。

議員の期末勤勉手当は、必ずしも人事院勧告を尊重の必要はなく、三田市の財政状況の悪化が予測される中、議員報酬を増額する根拠はないため、この議案に反対。

（無会派 小山 裕久）

賛成討論

人事院勧告は、労働基本権制約の代償措置として、職員に対して適正な給与を確保する機能を持つ。

公務員の給与は市場原理による決定が困難であるため、経済状況・雇用情勢を反映して決定される民間給与に準拠して決められるとの原則により、官民比較して決定されたもので、妥当な勧告と考える。

以上のことから、この議案に賛成。

（盟政会 森本 政直）



令和元年度一般会計補正予算（第4号）

内容 マイナンバーカード取得者を対象にプレミアム付きで販売されるマイナポイントを活用し、消費の活性化を図るための事業費の増額補正などについて。



反対討論

消費税増税による消費低迷対策としての予算だが、そもそもマイナンバーカード取得は義務ではないにも関わらず、マイナンバーカードを持たなければ還元を受けることができないマイナポイントの仕組みはおかしい。高齢者など電子決済に不慣れな方が還元を受けにくいのも問題。

「増税対策」の名目でマイナンバーカードを取得させるために国費を使うことに疑問である。以上のことからこの議案に反対。

（日本共産党三田市議団 長尾 明憲）

賛成討論

今回の事業は、マイナンバーカードの普及促進、行政事務の効率化、消費低迷への対策を目的としているが、実施にあたり、キャッシュレス化への対応を目的としたマイキーIDの設定が必要となる。

この補正は、市民が円滑に事業を活用できるための支援として、マイナンバーカードの取得やマイキーIDの設定、また利用可能店舗の拡充などの消費活性化事業に活用されるものであるため、この議案に賛成。

（盟政会 幸田 安司）





農業共済条例を廃止する条例の制定について

内容

兵庫県下全域を農業共済の事業区域とした「兵庫県農業共済組合」の設立に伴い、当該事業を同組合に引き継ぐため、市の条例を廃止するもの。



反対討論

農業共済が強制加入から任意加入に移行するが、脱退者が増え、農業共済の財務や運営に悪影響を及ぼすことが危惧される。

また、掛け金は3年に1度の見直しがあり、状況によっては値上がりも懸念される。

幸い事務所は三田市内に設置される予定なので大きな問題はないと思われるが、対象地域が広範囲になるため現地の農業者の詳細な情報収集が難しくなり円滑な業務継続が十分にできなくなることも懸念される。以上のことから、農業者に不利益と農業の衰退をもたらす恐れのあるこの議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長尾 明憲)

賛成討論

農業共済事業が広域化することによるメリットは、運営コストの削減など農業者へのサービスが向上されることや、専属職員による安定した事業運営、サービスの提供が可能となることである。

事務所についても、兵庫県三田庁舎内に設置される予定であり、市内の農業者の方には、これまでと変わらないサービスの提供を受けていただけると考える。

以上のことから、この議案に賛成。

(盟政会 幸田 安司)



請願

インフルエンザワクチン予防接種費用の中学3年生までの助成を求める請願

請願者：新日本婦人の会三田支部 代表者 松原 慶子



福祉教育常任委員会 審査内容

インフルエンザワクチンについて厚生労働省は、定期予防接種に比べ予防効果が期待できないため、ワクチンの安全性や有効性を理解した上での任意接種が適当としており、市からは、積極的に接種を勧奨するのは適当でないという説明がありました。

委員からは、市が補助を行うと接種を推奨していると受け取られる。副作用等があった場合には責任問題に発展する恐れがあるのでは、との意見や、ワクチンの有効性に賛否両論がある中、定期接種に向けた十分な検証がされていない現状では、市が補助することは難しいのでは、などの反対意見がありました。

それに対し、他の委員から、受験を控えた子や小さな子を持つ多くの親は、子どもにワクチン接種を受けさせたいと考えているが、費用が高額で大変だと感じている。他市ではワクチン接種の助成を実施されているところもあるが「子育て支援の一環」で行っている。三田市でも、中学生までのインフルエンザワクチン接種の助成を、全額が難しければ半額でも検討すべきでは、との賛成意見もありました。

採決の結果は、賛成少数のため不採択に決しました。



三田市議会



みなさんの声をお聞かせください

意見交換会を開催します！

市民のみなさんからご意見・ご提案をいただき、今後の議会活動に活かしたいと考えています。参加していただいた方々で、いくつかのグループに分かれて自由に意見交換をしていただきます。みなさんのご参加をお待ちしています。



4月25日(土) 午後2時開会 フラワータウン市民センター 視聴覚室

【参加議員】 田中一良、美藤和広、中田哲、白井和弥、多宮健二、大西雅子、長尾明憲

4月26日(日) 午前10時開会 高平ふるさと交流センター 研修室

【参加議員】 森本政直、佐貫尚子、小杉崇浩、幸田安司、佐々木智文、松岡信生、厚地弘行

4月26日(日) 午後2時開会 市役所6階 委員会室

【参加議員】 檜田充、北本節代、三谷禎勇、小山裕久、西上俊彦、平野管子、國永紀子

手話通訳あり
要約筆記あり

「三田の魅力づくり」「交通・定住促進」「支え合う地域づくり」などのテーマで意見交換を行います。

*時間はいずれも予算審議の説明などを含め100分程度を予定しています。
*受付は開始時刻の30分前からです。 *お住まいの地区に関わらず、どの会場にもご参加いただけます。

【お問い合わせ】 三田市議会事務局 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992



市議会 会派要望

市議会では、市が来年度に行う事業等の予算要求の時期に合わせ、市長に対してこれらの予算に市民の意見や要望が反映できるよう、各会派で要望を行っています。

その内容の一部をご紹介します。

*各会派の要望を掲載しているため、重複している項目もあります。

新政みらい

厚地・田中・佐貫・北本・西上・中田



<まちづくり> ◆市内主要箇所を巡回する小型バスを検討 ◆通学路等、危険箇所防犯カメラの増設 ◆キッピースタジアムの芝生の補修更新 ◆JR広野駅以北の増便、相野駅周辺整備 ◆本庄文化センターの今後の支援

<教育・文化> ◆八景と上野台の統合校の財政負担を明確に ◆学校内トラブル対応のスクールロイヤーの導入 ◆交通不便地域のスクールバスの導入 ◆存続危機にある部活動は廃部とせず休部に ◆三田国際交流協会日本語サロンへの財政支援

<市民病院> ◆市民病院の情報をわかりやすく市民に説明 ◆院内でのカスタマーハラスメントの適切な対応 ◆二階玄関口の障害者用駐車場付近の混雑の改善

<福祉・保険> ◆高齢者の外出・お買い物支援 ◆徘徊時の事故賠償保険加入青年後見人制度 ◆認知症キャラバンメイト大使の創設 ◆すい臓がん検診を市の健診項目に追加 ◆高齢者所有の空き部屋利用促進

<農業・商工業・観光> ◆例外的野外焼却問題の解消 ◆農業後継者への支援、生産物のブランド強化 ◆竹パウダーを肥料、除菌として産業化 ◆キッピーモール6階の経費削減 ◆ランチ付き工場見学ツアーを企画 ◆三田阪急での特産物売り場の設置

<企画総務・環境> ◆福祉収集と粗大ごみ搬出システムの構築 ◆土曜日のゴミ収集日の廃止 ◆災害時の情報発信の方法を再検討 ◆避難所での簡易ベッド利用の体制 ◆専門職の採用と育成 ◆目標管理と実績により働きに応じた給与体系
など(全135項目)

盟政会

森本・幸田・白井・福田・三谷



<市長公室> ◆市民病院の経営形態見直しと再編ネットワーク化 ◆防災対策の強化 ◆防犯カメラの増設

<経営管理部> ◆職員の適正評価と配置 ◆行財政構造改革の推進 ◆公共施設や公有地の適正管理と処分

<地域創生部> ◆まちづくり協議会への支援 ◆地域集会所整備事業の見直し ◆地場産レストラン早期実現 ◆観光振興 ◆第3テクノパーク構想推進 ◆商工業振興 ◆ため池適正管理 ◆農業振興と農村保全

<こども未来部> ◆3才児保育の拡充 ◆待機児童対策 ◆青少年健全育成活動支援 ◆児童館の機能強化

<福祉共生部> ◆社会福祉協議会の運営の透明化 ◆生活保護者への対応の適正化 ◆障がい者雇用促進と支援強化 ◆公平性、透明性ある人権施策の推進

<まちの再生部> ◆調整区域の規制緩和 ◆三田駅前市街地再開発事業の早期実現 ◆都市計画道路の早期実現及び見直し ◆JR三田駅北口、新三田、広野、対中、相野駅周辺のまちづくり ◆河川の浚渫 ◆クリーンセンターの施設更新に向けた取り組み ◆公共交通の整備 ◆例外となる野外焼却への市民の理解の促進 ◆公営墓地運営の適正化

<上下水道> ◆料金見直し ◆安定的な健全経営

<行政委員会> ◆選挙開票事務の迅速化 ◆投票所のバリアフリー化 ◆農業委員会の充実

<学校教育部> ◆学校園のあり方の検討 ◆通学路の安全対策と通学支援の充実 ◆日本の歴史と伝統、文化、道徳教育の推進 ◆不登校(いじめ)対策

<消防> ◆消防職員の人員確保 ◆消防器具庫等施設整備 ◆消防団の機能強化 ◆消防団員の福利厚生向上

<病院> ◆医師、看護師の確保 ◆外部委託業務の管理強化 ◆救急医療体制の強化 ◆地域医療連携の強化
など(全68項目)

説明 ◆浚渫：河川などの水深を深くするため、水底をさって土砂などを取り除くこと。

公明党

松岡・平野・大西



- ◆今後の自治体運営は必要な生活機能等を確保するため近隣自治体と連携・協力を図ること。
- ◆災害に対し「いつ」「誰が」「何をするか」を整理する「マイ・タイムライン」の啓発を図ること。
- ◆スマート自治体へ、「RPA」及び「AI」、「デジタル申請システム」の導入を推進すること。
- ◆オレオレ詐欺から高齢者を守るため電話に設置する詐欺防止撃退機器貸与の制度を検討すること。
- ◆産後ケアの対応として宿泊・訪問・デイケアの体制を構築すること。
- ◆ひとり親家庭の生活困窮世帯対象に民間事業者(学習塾)との連携による学習支援を検討すること。
- ◆子どもや歩行者を守る対策強化として「歩道や交差点」等を含め万全な安全対策に努めること。
- ◆児童虐待防止対策として警察との連携強化及びスクールロイヤー(弁護士)配置を検討すること。
など(全163項目)

市民の会

楢田・美藤・佐々木



- ◆近年の暴風雨を想定した、規格・設備設計
- ◆武庫川の決壊等を考慮したガイドラインの構築
- ◆まちづくり協議会に市からの権限と財源を委譲
- ◆子どもの居場所づくりとしての子ども食堂の整備
- ◆放課後児童クラブの安全と安定的な運営
- ◆保育無償化に対応した認定こども園施設整備
- ◆青少年の成長に悪影響を及ぼす有害環境の点検
- ◆軽度認知症の早期発見の強化と治療環境の整備
- ◆高齢者外出支援の充実及び高齢運転者の安全対策
- ◆健康スケールなど「健康づくり」支援策の充実
- ◆鉄道交通の整備と安価・安心・安定な交通計画
- ◆地域コミュニティ交通のモデル地域の早期整備
- ◆街区公園管理及び刈草等効率的なまち協への委託
- ◆聖苑・霊苑の将来を見据えた効率的な運営
- ◆野外焼却問題における草回収の効率的な施策実施
- ◆風水害を考え里山の整備と樹木の管理実施
- ◆学校園の規模・配置適正化の迅速な対応
- ◆子育て世帯の貧困実態の分析と対策
など(全100項目)

日本共産党三田市議団

國永・長尾



- <新三田> 駅のエスカレータ設置(駅の全面改修も含む)をJRに求めること。
- <地域経済の活性化> 「住宅リフォーム助成制度」を導入すること。
- <土手・植栽の管理> 景観の維持、通行の妨げにならないよう適切な市のチェックと管理を行うこと。
- <インフルエンザ> ワクチン接種を中学生以下接種料の2分の1を補助すること。
- <国保税> 独自減免制度を拡充すること。
- <市民病院> 他病院との連携の名のもとに診療科、医師の集約をしないこと。
- <水害対策> 河川、排水等豪雨対策を行うこと。
など(全235項目)

無会派

多宮



- ◆地域の包括的な維持管理の構築
- ◆自校方式による学校給食の提供
- ◆陸上養殖の調査・研究及び事業化
- ◆庁舎内における手続きのワンストップ化及び窓口業務の委託
- ◆将来を見越した地域医療の確立
- ◆循環型農業の普及促進及び助成強化
など(全8項目)

無会派

小山



- ◆既存の運動施設の整備強化
- ◆公共施設等へのミストシャワーの設置
- ◆教育バウチャー制度の確立
- ◆全市立幼稚園の3才児からの受け入れ
- ◆保育士確保への対策
- ◆三田ブランドを構築するため、農作物の選択と補助金制度の創設
など(全40項目)

無会派

小杉



- <共生のまちの推進> 「誰も孤立させない共生のまち」実現のための地域共生サポーターの養成。
- <災害時対策> 通訳支援等が受けられるように、三田在住外国人のボランティア登録制度の創設。
- <シビックプライドの醸成> シビックプライドの醸成を意識した広報及び市民対応の実施。
など(全63項目)